

東名高速道路牧之原地区地震災害の復旧完了報告

1. はじめに

平成21年8月11日5時7分頃発生した駿河湾を震源とする地震により東名高速道路牧之原SA近くの盛土のり面が崩壊し、通行止めとなり、お客様をはじめ多くの皆様に多大なご不便、ご心配をお掛けしました。

被災した盛土のり面は、今年の梅雨入り前までの完成を目指して本復旧対策工事を昨年秋より進めてまいりましたが、盛土本体の復旧工事が完了しましたのでお知らせします。

2. 本復旧対策工事の概況

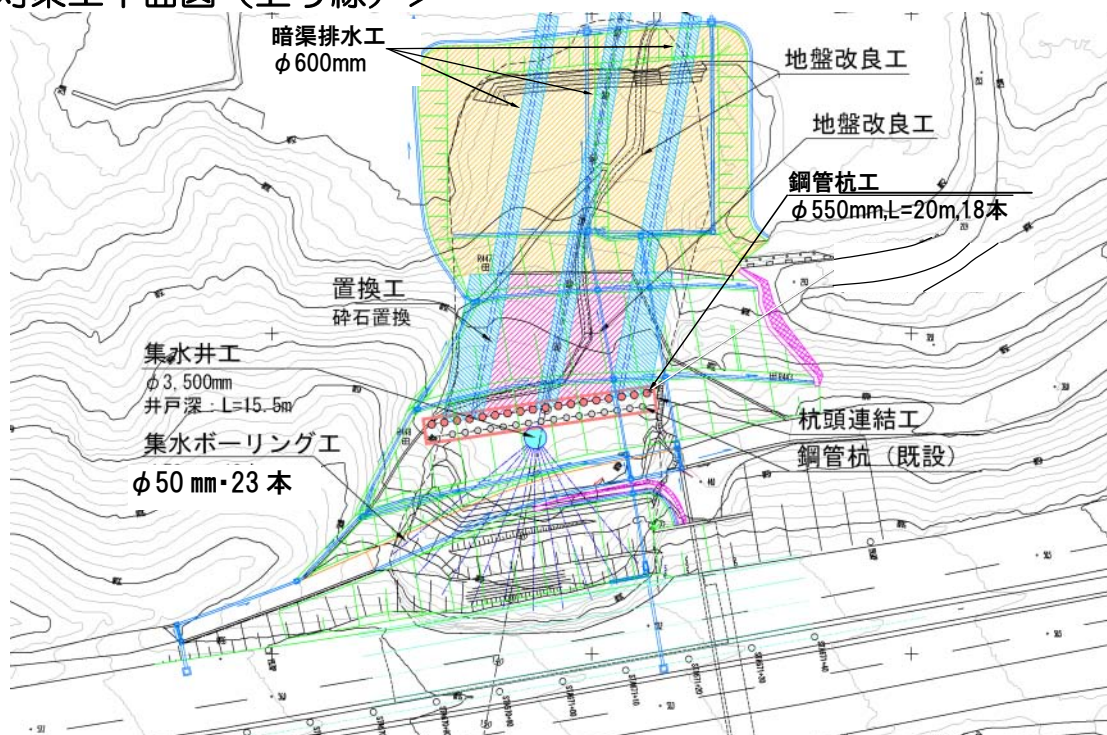
【本復旧対策工の基本方針】

- ①本線通行に重大な影響を及ぼさない施工方法とする。
- ②安全性を第一に、施工性・経済性等を総合的に考慮し決定する。

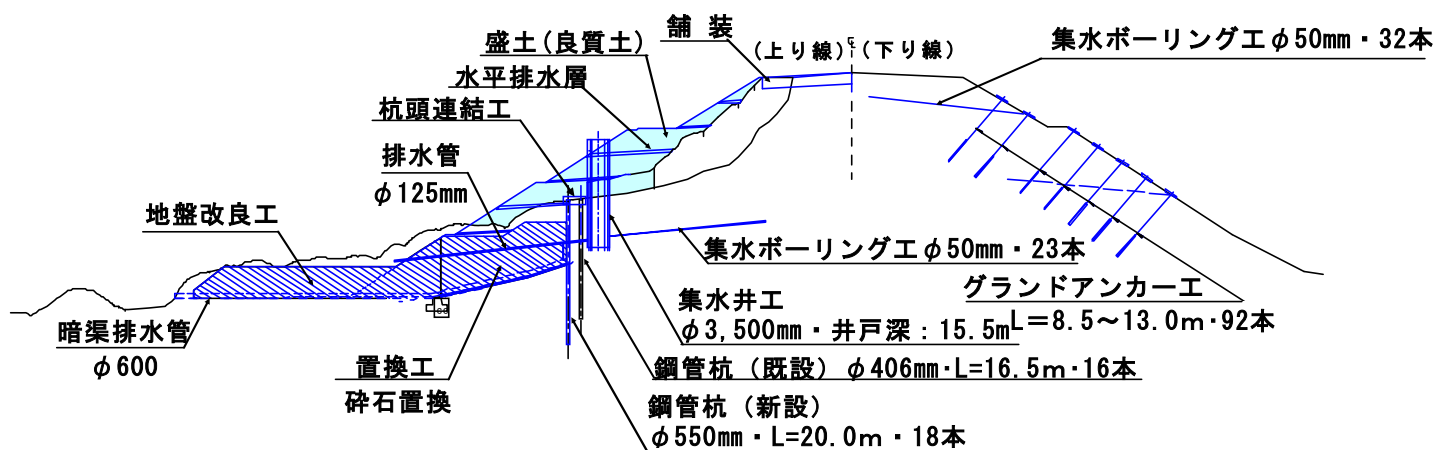
【盛土本体工事の完成と今後の予定】

- ①平成22年6月7・8日に昼夜連続走行一車線規制により実施しました舗装、並びに防護柵工事の完成をもちまして盛土本体部分の工事を完了いたしました。
- ②本体工事の完成により昨年夏の被災から約10ヶ月に亘って実施しておりました本線の速度規制（50km/h）は解除され、従前の規制速度80km/hとなりました。
- ③工事用道路の撤去工事や市道の復旧工事等、本線外の付帯工事を引き続き実施し、7月末完了を目指しています。

<対策工平面図（上り線）>



<対策工断面図>



<盛土工完了(上り線)>



<本線舗装工事完了(上り線)>

＜本復旧対策工施工状況写真＞



集水井工



鋼管杭工



杭頭連結工



碎石置換工



暗渠排水管



盛土工